

『おはなしメリーゴーランド』で 楽しく心を育てよう！

とき 令和元年7月1日(月)

実演 ①榎紗奈江先生 増元愛莉先生

ところ 鹿児島県鹿児島市

②小田友美先生 田中美和先生 古市美佳先生

①私立 鴨池保育園

②鹿児島市立 真砂保育園



食事の前にはなんて言うのかな？（鴨池保育園）



手作りのお面でハナちゃんとアカチンに変身！（真砂保育園）

「子どもの豊かな心を育むには幼児期から」という声を受け、制作を始めた幼児向け教育プログラム・ツール『おはなしメリーゴーランド』3作（あいさつ編・マナー編・思いやり編）が完成しました。

そこで、長年にわたり、保育園や幼稚園と七夕交流を行っている鹿児島県本部のご協力により、鹿児島市内の2ヶ所の保育園で、それぞれ1作品を選んで実演していました。

『おはなしメリーゴーランド』は、手元でくるくる回転させてお話を進めるので、20名前後の子どもたち（園の1クラス）を対象にすることを想定していましたが、今回は両園とも3～5歳合同70名程の子どもたちが参加。どちらの園でも、大人数でも見やすいようにと大きく拡大し、さらにプログラムやツールに工夫を凝らしてくれました。

工夫
①

主人公を印象づける

鴨池保育園では、教材の一部を加工して、主人公のハナちゃんとアカチンが一緒にいる1枚のイラストを追加

作成し、「マナー編」を演じる前に、「新しいお友達だよ」と紹介。二人が仲良しだと分かった子どもたちは戸惑うことなくお話の世界に入っていき、先生の問いかけに大きな声で答えてくれるだけでなく、自分の意見を積極的に発言してくれました。

工夫
②

主人公に扮して寸劇

真砂保育園では、「思いやり編」を実演した後、友達への思いやりをより深く考えてもらえるよう、先生たちが考えたお話を「寸劇」で披露してくれました。ハナちゃんとアカチンのお面をつけた先生たち。実際に目の前で動くキャラクターを見ることで、より子どもたちが自分のことのように感じ、心に残るのだそうです。

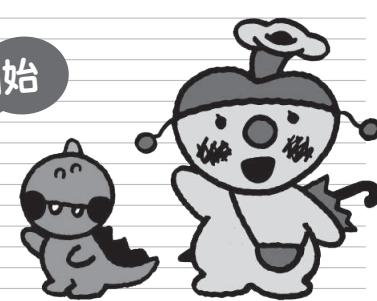
工夫
②

いがけず、様々な使い方を見ることができた今回の実演。先生たちの発想力の豊かさに驚くとともに、『おはなしメリーゴーランド』は工夫次第いろいろアレンジでき、使う人にあわせていろいろなバリエーションが生まれることを実感しました。

Coming Soon!

近日ダウンロード開始

WEBサイト“てらこあん”でのイラストのダウンロードは、今秋を予定。作り方や、今回実演してくださった先生たちのアイデアなどもご紹介しますので、ご期待ください！



アカチン&ハナちゃん ©SHINOBU ARIGA